金高新聞

発行所
金沢市泉本町3-111
金沢高等学校
新聞部・文化委員会

校訓と教育理念

質実剛健の気風を高揚し
共に求める真理
共に育む友愛
共に尊ぶ礼節
共に鍛える心身

新時代に挑戦誓う

～令和初の生徒会執行部が始動～

今年度の前期生徒会執行部役員は4月23日に選出され、新しい生徒会が始動した。令和初の生徒会執行部として、大泉会長をはじめとするメンバーは、結束して朝のあいさつ運動や校内清掃等に取り組んでいる。

生徒に笑顔で挨拶をする執行部メンバーたち

メンバーに抱負を聞く

様々な生徒会の要職を歴任している大泉会長は、「令和で初めての生徒会として、新鮮な気持ちで頑張りたい」と抱負を語ってくれた。

副会長の森さんは「あいさつ運動等のイベントを通して、さらによい学校を作りたい」と語り、同じく副会長の中島君は「去年の反省を生かし、より皆をまとめていきたい」と意気込みを述べた。

書記の安田君は「生徒の個性を活かせる環境をつくりたい」と語り、同じく書記の古川君は「前年度の経験を生かし、生徒会全体をサポートしていきたい」と、新たな取り組みにチャレンジする意欲を見せた。

会計の任田さんは「役職にかかわらずいろんな仕事に挑戦したい」と希望を語り、1年生で会計に選出された西脇君は「金沢高校を良くするため、できることを全力でやりたい」と語った。

執行役員の小島君、稲江君、喜多さんは「地域や学校をより良くしたい」「文化祭を成功させたい」「先輩方のサポートに励み、意見をどんどん言いたい」と、それぞれの抱負を述べた。

新たな時代に発足した生徒会には、今後積極的な挑戦を続けていってほしい。

前期 生徒会執行部

■会長
大泉有理紗（3年8組）

■副会長
森　彩華（3年4組）
中島　広貴（3年5組）

■書記
安田　大朗（2年2組）
古川　怜志（2年5組）

■会計
任田　菜乃（2年3組）
西脇　幹太（1年10組）

■執行役員
小島　瑠唯（2年3組）
稲江　旦（2年11組）
喜多　光梨（1年5組）

校内清掃奉仕に集まった生徒たち

主張

教育の地域格差は解消できるか

―情報を制すれば受験を制す―

教育の水準における都会と地方の差が、近年多く指摘されている。2018年に民間の教育事業者が行ったアンケートによれば、全国の大学受験生と保護者の約8割が、「都会と地方で格差を感じる」と回答した。その理由としては、レベルの高い予備校や塾が少ない、受験情報がない、等が挙げられていた。

都市に集中する難関中高一貫校

これまで教育格差と言えば、親の所得による子供の学力差が言われることが多かった。しかし、受験が多様化・高度化するほど、いわゆる難関中高一貫校がそのノウハウを駆使して、良い成果を残すことができるようになった。そのような学校は都会に多く、優秀な生徒がそこに集まる。そうなると塾や予備校もそこに集まり、結果的に地方の塾業界は遅れをとってしまうわけだ。

他にも地方が都会に遅れてしまう理由には、情報量の差が挙げられる。都会の中高一貫校にはトップクラスの大学合格者のデータが膨大にあり、それが生きた教材となって、合格までの戦略を立てることが可能となる。

しかし地方は都会に比べて、難関大合格者のデータの量で劣ってしまう。私自身もかつて塾に通っていた時、「都会の難関中高一貫校はかなり進度が早く、受験対策を万全にしている」と担当の先生から聞かせられ、都会の学習のスピードを恐ろしく感じた。

定員厳格化の影響も

2016年入試からは私立大の入学定員管理の厳格化が始まり、大都市圏の私大入試は厳しさを増している。その中で、英語外部試験利用入試等をはじめとする受験方式の多様化で、受験を制するのは情報の量だと言っても過言ではない。

もちろん、以前よりもインターネット環境が充実し、都会と地方の情報格差は解消することができるようになった。しかしネットをあまり使わない人や、自ら積極的に調べようとしない人の場合は、望む進路を歩むことが叶わなくなるかもしれない。情報量が不足することは私たちの今後の人生に多大な影響を与えてしまうだろう。

生まれた地域によって教育格差が生じるという事実は、受験生の自分自身は受け入れたくはない。教育だけではなく、さまざまな格差が都会と地方では存在する。少子高齢化の今、このままではあらゆる格差がさらに広がりかねない。だからこそ、情報の力でハンデを克服し、新たな時代を築くことを、令和の日本に期待していきたい。

（則竹　孝哉）

金沢高校へようこそ

新任紹介

今年は新任の先生11名が着任された。今年の新任の先生方はユニークなエピソードをお持ちの先生方が多い。新聞部では先生方のことを知ってもらうため、インタビューを行った。

（カッコ内は教科・職員室）

古澤　嘉一　先生

（国語　第２職員室）

―趣味は何ですか？
小説を読むのが趣味です。おススメがあればぜひ教えてください。

―金高生の印象は？
明るく元気なだけでなく、優しい子たちがたくさんいると思います。

―金高生にメッセージを。
真面目に取り組めばきっと進路は拓けます。一緒に有意義な学校生活を送りましょう。

吉村　瞬　先生

（英語　生徒指導室）

―高校時代の思い出は？
高校時代はサッカーをしていました。もっと色々なことを高校時代に体験しておけばよかったという後悔の方が大きいです。皆さんもこの一瞬の時を大事にしてほしいと思います。

―最近はまっていることは？
近頃は文化的なことに興味があり、週に一度、茶道のお稽古に通っています。その他にも自転車で金沢の町を走ったり、一人旅をしたりするのも好きです。

―好きな芸能人は？
中条あやみ、森川葵です。

―金高生にメッセージを。
できるだけ多くの生徒と関わっていきたいと思います。廊下等で出会ったら、気軽に声をかけてもらえると嬉しいです。

山本　兼史　先生

（地歴公民　生徒会指導室）

―高校時代の思い出は？
とにかく忙しかった記憶があります。片道1時間半を満員電車に揺られて通い、朝の7時半からの補習もありました。そんな中で、最も充実していたのはサッカー部の仲間と過ごした時間です。卒業後も度々集まっています。

―趣味は何ですか？
「キャンプに行きたいな」とか、「サーフィンやってみたいな」とよく思いますが、実現できていません。ぜひ今年中にトライしたいです。

―金高生にメッセージを。
明るく爽やかな挨拶に、元気をもらっています。新しく入った自分にも本当によく声をかけてくれるので、とても嬉しいです。一日一日を大切に、一緒に成長しましょう！

宮本　優子　先生

（国語　図書室）

―高校時代の思い出は？
友達に恵まれて、とても楽しい高校生活でした。大人になると、友人とは毎日は会えなくなります。今、友達に会えているという幸福を感じて、楽しく過ごしてください。

―趣味は何ですか？
趣味は「チベット体操」という体操で、いずれは教室を開きたいと思っています。音楽も好きで、バックナンバーをよく聴きます。

―好きな芸能人は？
キングアンドプリンスの平野紫耀君です。

―金沢高校に対する印象は？
生徒が素直で明るいです。皆さんと一緒に過ごせることを幸福に感じます。挨拶が素晴らしく、自然に笑顔になれる素敵な学校です。

山本　ひとみ　先生

（国語　進学指導室）

―最近はまっていることは？
子どもの喜ぶ幼児食の研究です。

―好きな芸能人は？
NHKの「うたのおねえさん」が好きです。

―金沢高校で感じたことは？
体操服のジャージの背中の斜めロゴがかっこいいなと思います。

―金高生にメッセージを。
ワクワクしてこの学校に着任しました。これから色々な話を皆さんとできることを楽しみにしています。

浜口　国彦　先生

（数学　第３職員室）

―趣味は何ですか？
テニスやゴルフ、旅行、読書、クラシック音楽の鑑賞です。

―好きな有名人は。
石川遼、宮里藍、錦織圭です。

―金高生の印象は？
明るく元気で、前向きな生徒が多いと思います。

―金高生にメッセージを。
大切な高校生活、悔いのない一日一日を送りましょう。また、一生の友を見つけましょう。

新敷　里美　先生

（英語　第２職員室）

―高校時代の思い出は？
1年生の冬、英語が苦手なのに3週間の海外研修（アメリカ）に参加しました。言いたいことは言えず、授業にもついていけなかったので、悔しくて休み時間にはトイレで隠れて泣いていました。しかし、帰国後はそれが強烈な英語熱へと変わりました。その経験が今の私につながっています。

―趣味は何ですか？
菜食料理を研究することや、外国人旅行者を家に招いて、おもてなしをすることです。

―金高生の印象は？
生徒の規律がしっかりしていて、会うたびに気持ちのよい挨拶をしてくれるところが素晴らしいです。また、素直でまじめな生徒が多い印象です。

岡部　英孝　先生

（理科　第３職員室）

―高校時代の思い出は？
放課後友達の家に行って、よく将棋を指していました。

―趣味は何ですか？
ロードバイクやバドミントン、そして将棋です。

―好きな芸能人は？
ユースケ・サンタマリアです。

―金高生にメッセージを。
校訓である「質実剛健」を忘れず、高校生活を送ってください。

中村　一輝　先生

（地歴公民　第２職員室）

―高校時代の思い出は？
サッカー部3年の時、選手権大会県大会の準決勝で負けてしまったのですが、雨の降る中、同級生が応援に駆けつけてくれたことが良い思い出です。

―好きな有名人は。
尊敬するのは本田圭佑選手で、最近好きな芸人はダイアンです。

―金高生にメッセージを。
話したことがない生徒が多いと思いますが、人と話すのは好きなので、話しかけてくれるとうれしいです。これからよろしくお願いします。

松本　彰　先生

（保健体育　トレーニング準備室）

―高校時代の思い出は？
部活動中心の生活で、陸上部で走ってばかりいた印象が強いです。しかし、時々ボーリング場やスケートセンターに通って遊びました。

―好きな芸能人は？
竹内結子、チェ・ジウです。

―金沢高校に対する印象は？
誠実で優しい生徒、挨拶のしっかりできる元気な生徒が多いと感じています。

三島　宣子　先生

（教育相談補助　教育相談室）

―高校時代の思い出は？
お弁当やパンを注文する仕組みがなかったので、4限後に購買でお気に入りのパンをゲットするのが大変でした。いかに早く購買までたどりつくか、友達と作戦を練ることに全力を注いでいました。

―好きな有名人は。
競泳の瀬戸大也選手。実際に泳ぐ姿を見た時から、応援しています。

―金高生にメッセージを。
悩み多き年頃ですが、あらゆる可能性を持った時期でもあります。支えて下さる周りの人に感謝しながら、勉強、部活、そして自分の好きなことに全力で挑戦していける高校生活を送ってください。

Soul 魂

県高校総体特集

県高校総体は5月から6月の期間に県内各地で行われ、各部、同好会の選手たちが熱戦を繰り広げた。

剣道　女子　団体2連覇　男子　山田個人V

激しい攻めを見せる山田君

県高校総体剣道競技が5月30日から6月1日にかけて羽咋体育館で行われた、女子は団体2連覇を成し遂げた。個人では山田幸之介君（3年7組）が優勝し、インターハイ出場を決めた。

女子部長の中村結乃さん（3年12組）は「今回の総体は一戦一戦がとても苦しい大会でした。全員で優勝を掴みとることができたので良かったです。三年間の集大成をインターハイの舞台で全て発揮し、日本一を目指します」と話してくれた。

男子部長の山田幸之介君は「団体戦は3位という悔しい結果に終わってしまい、目標としていたアベック優勝には届きませんでした。最高の仲間と剣道ができたことを幸せに思います」と語ってくれた。

【県高校総体結果】
◇男子団体
2回戦　金沢　3－1　航空石川
準々決勝　金沢　3－0　泉　丘
準決勝　金沢　1－3　金市工　3位
◇男子個人戦
山田幸之介
西　隆之介（3年4組）5位
◇女子団体
2回戦　金沢　5－0　宝　達
準々決勝　金沢　2－0　二　水
準決勝　金沢　1－0　星　稜
決　勝　金沢　3－0　羽　咋　優勝
◇女子個人戦
中村結乃　準優勝
田村吹妃（3年10組）3位

激しく打ち合う
中村さん（左）と田村さん（右）

男子・女子テニス　団体　初のアベック2連覇果たす

県高校総体テニス競技は、男女ともに団体優勝を成し遂げ、初のアベック2連覇を果たした。

単複準優勝となった吉田君

男子テニス

県高校総体テニス競技は5月30日から6月2日にかけて、城北テニスコート等で行われ、本校男子テニス部は団体決勝で泉丘に勝利し、3年連続14回目の優勝を手にした。個人では吉田悠真君（1年2組）が準優勝、個人ダブルスでは吉田君・谷口和輝君（1年9組）が準優勝を飾った。

部長の源侑悟君（3年7組）は「総体では団体3連覇を果たし、個人も上位の成績を残せました。そして、3年生は集大成として全力を出してくれました。1・2年生はその背中を見て一段と成長していってほしいです。インターハイでは、先輩方が目標にしてきた全国ベスト8を達成できるように頑張ります」と決意を表明した。

【県高校総体結果】
◇団体
2回戦　金沢　3－0　鶴来
準々決勝　金沢　2－0　錦丘
準決勝　金沢　2－0　星稜
決　勝　金沢　2－1　泉丘
◇個人シングルス
吉田悠真　準優勝
西田　爽（2年9組）ベスト8
◇個人ダブルス
源　侑悟　ベスト8
吉田・谷口ペア　準優勝
源・西田ペア　ベスト4

【北信越大会結果】
◇団体
1回戦　金沢　3－0　福井高専（福井）
2回戦　金沢　2－0　富山第一（富山）
準決勝　金沢　0－2　松商学園（長野）
3位決定戦
金沢　2－1　東京学館新潟（新潟）　3位

女子テニス　久保　個人3連覇達成

同じく本校女子テニス部は団体戦で北陸学院を破り、2連覇を成し遂げ、個人では久保友莉佳さん（3年4組）、個人ダブルスでは久保さん・関野未知留さん（3年6組）ペアが優勝した。

部長の関野さんは「今大会は団体戦の結果は良かったけれど、全体的に個人戦の結果が振るわなかったことが反省点です。これから北信越・全国まで残りわずかですが、その短い時間で後輩に何か一つでも多くの事を残していきたいです」と語ってくれた。

【県高校総体結果】
◇団体
2回戦　金沢　3－0　遊学館
準々決勝　金沢　2－0　伏　見
準決勝　金沢　2－0　泉　丘
決　勝　金沢　2－1　北陸学院
◇個人シングルス
久保友莉佳　優勝
◇個人ダブルス
久保・関野ペア　優勝

3連覇を達成した久保さん

女子団体　北信越でも栄冠

【北信越大会結果】
◇男子団体
準々決勝　金沢　1－4　新潟商（新潟）　ベスト8
◇女子団体
準々決勝　金沢　3－0　新潟商（新潟）
準決勝　金沢　3－0　富山北部（富山）
決　勝　金沢　1－0　五　泉（新潟）　優勝

陸上　山田　走高跳　2年連続優勝

県高校総体陸上競技は5月23日から5月25日にかけて、県西部緑地公園陸上競技場で行われ、本校陸上部は山田いづる君（2年12組）が走高跳で優勝し、2年連続で栄冠に輝いた。また男子4×100mリレーでは連覇を達成し、男子団体は総合の部で準優勝となった。

4×100mリレーで疾走する選手たち

部長の山岸立輝君（3年2組）は「個人では多くの選手が入賞することができ、1年生でも北信越を決めた選手もいました。今後は総体での反省を生かし、完璧な競技ができるよう全力で頑張っていきます」と話した。

【県高校総体結果】
◇男子
▼100m
高井克真（1年13組）4位
山岸立輝　6位
▼200m
山下大輝（1年4組）4位
小林研太（1年12組）6位
▼4×100mリレー
薮野航（1年13組）・小林・高井・山岸　優勝
▼4×400mリレー
初崎蓮（1年9組）・山岸・山下・山田　4位
▼走高跳
山田いづる　優勝
山崎関喜（2年12組）4位
中村兼介（2年12組）5位
▼棒高跳
増田尚希（3年8組）3位
池本礼也（3年11組）4位
瀬戸聡太（1年12組）6位
▼走幅跳
山岸立輝　8位
▼3段跳
松本航季（1年4組）8位
▼砲丸投
卯木文也（3年5組）7位
▼円盤投
卯木文也　7位
▼ハンマー投
宮森大貴（3年8組）7位
▼8種競技
松本航希　5位
谷村朋哉（2年11組）6位
南　憂羽（2年5組）8位
▼総合
トラック　2位
フィールド　5位
2位
◇女子
▼4×100mリレー
定仙千里（1年12組）・橋愛果（3年12組）・山田優羽（2年13組）・濱田麗加（2年13組）　7位
▼4×400mリレー
定仙・橋・山田・濱田　8位
▼棒高跳
濱野緑里（3年6組）4位
▼砲丸投
横西千奈（3年11組）8位
▼円盤投
鶴尾奈々佳（2年12組）2位
横西千奈　8位
▼ハンマー投
鶴尾奈々佳　7位
▼フィールド　4位
【北信越大会結果】
◇男子
▼走高跳
山田いづる　3位

男子バスケット　雪辱を期す

県高校総体バスケットボール競技が、5月31日から6月2日にかけて金沢市総合体育館で行われ、本校男子バスケットボール部は3位の結果となり、北信越代表決定戦では、惜しくも金沢学院に敗れた。

部長の松本拓己君（3年12組）は「今大会は3年生にとって集大成となる大会であり、全員が全力でプレーしました。優勝は逃しましたが、金沢の走るバスケができたので、次につなげることができたと思います」と雪辱を期した。

ドリブルで攻め込む西君

【県高校総体結果】
2回戦　金沢　125－39　小松大谷
3回戦　金沢　104－72　二　水
準々決勝　金沢　99－73　星　稜
準決勝　金沢　70－93　北陸学院　3位
【北信越代表決定戦】
金沢　56－64　金沢学院

女子はベスト8

本校女子バスケットボール部は準々決勝で金沢西に惜しくも破れ、ベスト8となった。

部長の高嶋亜衣さん（3年11組）は「一試合目は全員出場・全員得点をすることができ、いいスタートを切ることが出来ました。ベスト4がかかる試合では、2回も延長をして、どちらに転んでもおかしくない試合でした。この悔しい思いを次のウインター予選に向けての糧として、頑張っていきます」と語ってくれた。

伏見戦で競り合う選手たち

【県高校総体結果】
2回戦　金沢　86－49　伏　見
3回戦　金沢　92－53　遊学館
準々決勝　金沢　85－88　金沢西　ベスト8

サッカー　ベスト8

県工戦で激しく競り合う選手たち

県高校総体サッカー競技は5月25日から6月3日にかけて、和倉温泉多目的グラウンド等で行われ、本校サッカー部は準々決勝で鵬学園に敗れベスト8の結果になった。

部長の松平頭君（3年11組）は「今回の総体ではベスト8に終わり、とても悔しい思いをしました。この試合で個人やチームの課題がたくさん見つかりました。次の選手権まで1日1日の練習を全力で取り組み、必ず優勝します」と力強く話した。

【県高校総体結果】
2回戦　金沢　1－0　県　工
3回戦　金沢　9－1　七　尾
準々決勝　金沢　1－6　鵬学園　ベスト8

少林寺拳法　北信越出場決める

県高校総体少林寺拳法競技が5月31日から6月1日にかけて根上勤労者体育センターで行われ、本校少林寺拳法同好会は、男子組演武の森雅弥君（2年1組）、藤本智也君（2年9組）が3位となり、北信越大会出場を決めた。

森君は「今回は去年の11月からの修練の成果を出すことができ、上位に入賞できました。しかし惜しくもインターハイへの出場権は得られませんでした。反省すべき点は、時間を効率的に使えていなかったことだと思っています。そのため、今後は限りある時間を有効的に使い、さらなる上位への入賞を目指して頑張ります」と語った。

北信越大会に出場した
森君（左）と藤本君

【県高校総体結果】
◇男子組演武
森雅弥・藤本智也　3位
【北信越大会結果】
◇男子組演武
森雅弥・藤本智也　8位

金高

水泳　男子　2年連続総合優勝

県高校総体水泳競技が6月15日、金沢プールで行われ、本校水泳部は総合の部、競泳の部で男子が2年連続優勝、女子は3位総合優勝という結果を残した。男子の400mメドレーリレーで加藤史也君（2年11組）、山西空君（3年12組）、池田裕君（3年6組）、林拳士朗君（2年4組）が優勝を収める等、多くの選手が栄冠を手にした。

部長の池田君は「今大会は、部内の雰囲気が明るく、自信を持って臨めたと感じました。北信越大会では、応援し合って部全体で盛り上がっていきたいと思います。そして、一人でも多くインターハイの出場を決められるように頑張ります」と話した。

素晴らしい結果に充実した表情を見せる選手たち

【県高校総体結果】

◇男子

▼200m自由形
小林勇斗（1年12組）6位
林　拳士朗　7位

▼400m自由形
舘中侑次郎（2年13組）2位
小林勇斗　4位
杉山　蓮（2年11組）5位

▼1500m自由形
舘中侑次郎　優勝
杉山　蓮　3位

▼100m平泳ぎ
山西　空　2位
竹内健悟（1年8組）7位

▼200m平泳ぎ
山西　空　優勝
竹内健悟（1年8組）8位

▼100m背泳ぎ
加藤史也　3位
本間雄翔（1年2組）6位

▼200m背泳ぎ
加藤史也　5位
本間雄翔（1年2組）6位

▼100mバタフライ
池田　裕　2位
上野優陽（1年2組）4位
村本　成（3年3組）7位

▼200mバタフライ
池田　裕　4位
上野優陽　5位

▼200m個人メドレー
大久保知哉（3年12組）3位

▼400m個人メドレー
村本　成　3位
大久保知哉　4位

▼400mリレー
林・大久保・池田・村本　5位

▼800mリレー
小林・杉山・池田・舘中　優勝

▼400mメドレーリレー
加藤・山西・池田・林　優勝

▼総合
優勝

▼競泳
優勝

◇女子

▼200m自由形
伏屋結月（1年7組）2位

▼200m個人メドレー
安井桃香（2年5組）優勝
伏屋結月　2位
村上真穂（2年10組）3位

▼400m個人メドレー
村上真穂　優勝
安井桃香　3位

▼総合
3位

▼競泳
3位

ソフトボール　圧勝7連覇　選抜ベスト4の実力発揮

県高校総体ソフトボール競技は、6月1日から2日にかけて金沢市専光寺ソフトボール場で行われた。本校は決勝で津幡に7−0で勝利し、7年連続9度目の優勝を果たした。

部長の平井恵夢さん（3年10組）は、「春の全国選抜大会でベスト4となり、県内で負けるわけにはいかないというプレッシャーがありました。その中で全員が活躍し、チームプレーで勝てたことが良かったです。あくまで私たちの目標は日本一なので、応援して下さる方々への感謝を忘れず新しい歴史を作ります」と闘志を見せた。

決勝戦で勝利し、歓喜する選手たち

【県高校総体結果】

準々決勝　金沢 10−0 寺井
準決勝　金沢 11−2 金沢西
決勝　金沢 7−0 津幡　優勝

2年連続4度目　北信越制す

【北信越大会結果】

1回戦　金沢 12−0 高田商（新潟）
準々決勝　金沢 7−0 市立長野（長野）
準決勝　金沢 14−0 長野商（長野）
決勝　金沢 10−1 三国（福井）　優勝

柔道　男女ともに団体3位

背負い投げを仕掛ける草間君（右）

県高校総体柔道競技が5月30日から6月1日にかけて県立武道館で行われた。本校柔道部では男子団体、女子団体ともに3位となり北信越大会出場権を獲得した。個人では男子66kg級の関軒楽生君（3年12組）、女子52kg級の山﨑朱音さん（3年10組）、78kg級の齋藤綾南さん（3年2組）が見事優勝を果たし、インターハイ出場の切符を手にした。

男子主将の草間康生君（3年12組）は「男子団体はとても悔しい結果でした。個人でも悔しい思いをした人もいました。上位大会では、悔しい思いをぶつけ、悔いの残らない試合にします。応援よろしくお願いします」と力強く話してくれた。

【県高校総体結果】

◇男子団体
1回戦　金沢 5−0 泉丘
準々決勝　金沢 5−0 金沢学院
準決勝　金沢 2−3 鶴来　3位

◇男子個人
▼60kg級
笠山侑矢（3年12組）5位

▼66kg級
関軒楽生　優勝

▼73kg級
草間康生　5位

▼81kg級
竹田永遠（3年10組）5位

▼90kg級
戸田清雅（3年4組）5位

▼100kg超級
橋高義人（2年12組）　準優勝

◇女子団体
1回戦　金沢 3−0 航空石川
準決勝　金沢 0−2 津幡
北信越代表決定戦
金沢 3−0 県工　3位

◇女子個人
▼52kg級
山﨑朱音　優勝

▼57kg級
山田佳恭（2年13組）3位
山出愛結（3年7組）3位

▼78kg級
齋藤綾南　優勝

▼78kg超級
入口紫緒里（3年11組）　準優勝

【北信越大会結果】

◇男子個人
▼66kg級
関軒楽生　5位

▼73kg級
草間康生　5位

▼81kg級
竹田永遠　5位

◇女子個人
▼52kg級
山﨑朱音　3位

▼78kg級
齋藤綾南　3位

▼78kg超級
入口紫緒里　3位

弓道　的中！女子団体3位

真剣な表情で矢を射る福田さん

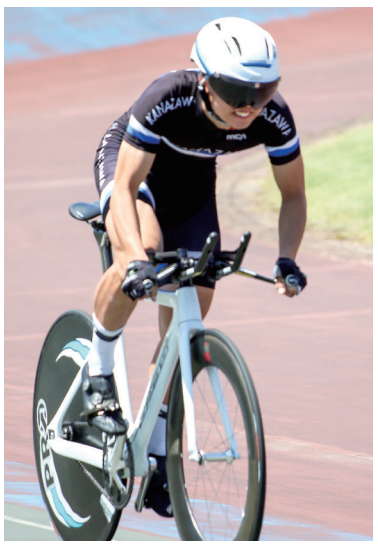
県高校総体弓道競技は、5月26日から6月1日にかけて、県立武道館で行われ、本校弓道部は女子団体戦で星稜を破り、北信越出場を決めた。

部長の井上瑠菜さん（3年2組）は、「今回の総体で私たちが3位という結果を残せたのは、予選から落ち着いて練習通りの的中を出せたからだと思います。しかし、決勝戦では慣れない環境の中、思うような結果が出ませんでした。北信越大会では不慣れな環境で、いつもの的中を出すのは難しいかもしれませんが、全力で頑張っていきます」と話した。

【県高校総体結果】

◇男子団体
予選　9中／40射
◇女子団体
予選　18中／40射
準決勝　24中／60射
決勝トーナメント
金沢 9中−野々市南 11中
3位決定戦
金沢 8中−星稜 6中　3位

自転車競技　駆け抜けた銀輪　総合2位


スピードを上げて疾走する谷村君

県高校総体自転車競技が5月30日から2日にかけて県立自転車競技場で行われ、本校自転車競技部は総合成績で2位となり、谷村晟宰君（3年10組）が個人種目で北信越出場を成し遂げた。

部長の谷村君は「今大会では練習の成果を大いに感じられる結果を出せました。北信越では自信を持って挑みたいと思います」と語った。

【県高校総体結果】

◇トラック競技
▼スプリント
谷村晟宰　2位

▼1kmタイムトライアル
谷村晟宰　優勝

▼3kmインディヴィジュアルパーシュート
谷村晟宰　優勝

▼4km速度競争
谷村晟宰　優勝

▼スクラッチ
谷村晟宰　優勝

▼ケイリン
谷村晟宰　3位

▼24kmポイントレース
谷村晟宰　優勝

◇ロード競技
▼個人ロードレース
谷村晟宰　2位

▼総合成績
2位

【北信越大会結果】

▼4km速度競争
谷村晟宰　8位

吹奏楽　サマーコンサートを開催

文教アートウエイブ「金沢高等学校サマーコンサート」は6月22日、県文教会館で開かれ、吹奏楽部の約50人が、軽快な演奏で来場者を魅了した。

詰めかけた保護者や教職員らは、練習を重ねた生徒たちの演奏に聴き入り、惜しみない拍手を送っていた。

息の合った演奏で観衆を魅了した部員たち

各部の記録

バドミントン部
◇男子団体
1回戦　金沢 3−0 大聖寺実
2回戦　金沢 0−3 県立工
◇女子団体
2回戦　金沢 0−3 北陸学院

ハンドボール部
1回戦　金沢 20−29 金市工

空手道同好会
◇男子個人組手
元山陽太（1年4組）　ベスト16

野球部
◇北信越地区高校野球県大会
2回戦　金沢 12−3 桜丘
3回戦　金沢 0−3 小松大谷

男子バレーボール部
◇決勝トーナメント
1回戦　金沢 2−1 石高専
2回戦　金沢 0−2 金沢商

女子バレーボール部
◇決勝トーナメント
1回戦　金沢 2−0 北陵
2回戦　金沢 1−2 金沢学院　ベスト16

卓球部
◇男子団体
2回戦　金沢 0−3 七尾東雲
◇女子団体
2回戦　金沢 2−3 野々市南

ボウリング同好会
◇2人チーム戦
金沢A　25位
金沢B　15位

特集 ご当地アイドルで町おこし

西金沢駅前 商店街と異色のタッグ

本校生徒の多くが利用するJR西金沢駅周辺で、ご当地アイドルと地元商店街との異色のコラボレーションが進められている。アイドルグループ「西金沢少女団」と「西金プリンスロード商店会」によるもので、西金沢地区を盛り上げ、アイドルの聖地とするために、さまざまな取り組みが行われている。

ライブでパフォーマンスする西金沢少女団

ライブにファン熱狂

西金沢少女団の活動拠点は、JR西金沢駅前に昨年オープンしたばかりの「TEATRO西金沢」。夜間のライブのため顧問教諭が取材に訪れると、幅広い年齢層の熱狂的な男性客らが、ペンライトを持ってジャンプしたり、声を揃えて声援を送ったりしていた。

歌やダンスのパフォーマンスを行った後には、同じ会場で撮影会やサイン会が行われ、ファンと親しく言葉を交わす姿が見られた。ライブ会場の最前列で声援を送っていた40代の男性に話を聞くと、「この劇場がオープンしてから週に1回は通っています。メンバーが個性的なのがいいですね」と語ってくれた。

昔ながらの店が立ち並ぶ西金プリンスロード

イベント開催やCD発売も

数多くのファンに支持されている西金沢少女団は、2017年に結成された。「西金沢を楽しくしたい」等をコンセプトに、西金沢を拠点に活動している。現在のメンバー数は11名で、ソロで活動しているメンバーもおり、県外のファンも数多く存在する。

一方、西金プリンスロード商店会は、JR西金沢駅と来泉町の県道沿いに立ち並ぶ約30店舗の商店で構成される。少女団が商店街の中に拠点を置いたことをきっかけに、商店会のPR動画に少女団が出演したり、夏祭りイベントを合同で開催したりするなど、コラボレーションが一気に進んだ。さらに少女団は昨年、商店街を歌った「西プリ音頭」というCDを発売するなど、地域活性化に大きく貢献している。

メンバーにインタビュー

新聞部では、アイドルの仕事をよく知るため、少女団のメンバーにインタビューを行った。学生をしながらアイドル活動を行っている人や、他の仕事と兼ねている人もいるが、アイドルになったきっかけは、家族に勧められたり、オーディションを受けたり、スカウトされたり、など様々だった。

商店街とコラボするようになって、少女団の活動の場が増えたのをはじめ、ファンの人たちが商店街のお店を利用するなど、アイドルと商店街は互いに助け合う関係となっている。アイドル達にとって、年の離れた商店街の店主らは、活動を温かく見守ってくれる心強い存在でもある。メンバーのオモテカホさんは「商店街の人たちが応援してくれるのがうれしい」と、にこやかに語ってくれた。

インタビューに答える少女団のメンバーたち

商店会副会長の中村さん

商店会の副会長でノルマン洋菓子店の中村誠一さんは、「少女団のおかげで知名度が上がっており、宣伝効果が大きい」と手ごたえを感じ、西金沢がアイドルの聖地と呼ばれるよう、イベントなども開催していきたいと話してくれた。

商店会事業部で少女団を運営する伊勢保彦さんも「少女団と商店会が行う夏祭りに、ぜひ足を運んでみてほしい」とPRした。

この異色のコラボによる町おこしは、地域活性化のモデルケースとして注目を集めている。同じ地域の学校に通う者として、このユニークな取り組みを応援していきたい。まずは身近な商店街に立ち寄り、その魅力を見つけていくことが大切だと感じた。

新聞部の質問に元気に答えてくれたオモテカホさん（手前）

海外留学経験者に学ぼう

小松サマースクールと連携授業

毎年夏に小松市で行われる「小松サマースクール」の連携授業が5月18日、本校で行われた。課題を自ら見つける探究プログラムの一環として行われ、参加した生徒たちは実際に留学を経験した大学生の話を聞き、国際的な視野を広げた。

「探究」的学習の一環

小松サマースクールは、日本の高校生向けのバイリンガルサマースクールで、日米の大学生約40名によって運営されている。今回のイベントは同スクールをPRするとともに、海外留学に興味をもってもらうきっかけ作りのため、本校生徒を対象に開催された。

授業では本校を訪れた大学生1名と、オンラインで参加した大学生3名による対話が行われた。生徒はタブレットを使い、一人ひとりの体験談に耳を傾けた。

大学生の一人は「留学先で体験した文化の違いから、日本の文化について意識するようになった」と語った。また、他の学生は「みんなも好奇心をもって様々なチャレンジをして欲しい」と呼びかけた。

参加した生徒は「何年かかったとしても、たくさん経験をしたら自分のやりたい事が見つかる。そのために、失敗を恐れないで積極的に挑戦していきたい」と語っていた。

タブレットを使って留学経験者と会話する生徒たち

Oi!（こんにちは）グスタボ君

留学生にインタビュー

本校では4月から、ブラジル出身のグスタボ・カーディアル・エスティーブズ君が、2年2組の留学生として、学校生活を共にしている。本校での学校生活にも慣れ、充実した日々を送っているグスタボ君に、日本に対する思いや祖国のこと等を聞いてみた。

日本のアニメ、ゲームが好き

グスタボ君が日本へ留学することを決めた理由は、「まだ行ったことのない場所へ行きたかったことと、日本の文化に触れ、経験を増やしたかった」という思いからだった。日本のアニメに興味があり、「ワンピース」「進撃の巨人」「僕のヒーローアカデミア」「七つの大罪」が大好きだそうだ。

日本食で好きな物は「焼きそば」で、好きな日本語は、色々な場所で便利に使えるから、という意味で「ちょっと待って」だそうだ。

グスタボ君に母国のブラジルの魅力を聞いてみると、「アマゾン川に代表される美しい自然が素晴らしい」とのことだった。ブラジルというと情熱的なサンバの国、というイメージだが、実はサンバは得意ではなく、読書やゲームをする方が好きだそうだ。

目指すはゲームデザイナー

将来の夢は、ゲームデザイナーになり、様々なゲーム作成に携わりたいと考えているそうだ。ファイナルファンタジー等、日本のゲームが大好きなグスタボ君。アニメやゲームのことについて、多くの友人と話をしたいと言っていた。生徒の皆さんは、グスタボ君を見かけたら気軽に話し掛けてほしい。

日本の文化について語るグスタボ君

編集後記

今回が最後の新聞作成だったので、後輩たちに部のバトンを引き継ぐため、今まで先輩方に教えて頂いた色々なことをできるだけ多く伝えたつもりです。それが今回の新聞作りで最も大変だったことでもあります。そして今までこの部で学んだことを今後の人生においても生かしていきたいと思います。最後に、この新聞作成を支えて頂いた方々に感謝いたします。

部長　西田　京平（3年2組）

今まで、いろんな所に取材させて頂く中で、自分が知らなかった事もたくさん知ることもでき、人生の幅も広がったかのように感じています。新聞を作成するにも、多くの試行錯誤を重ねてきました。大変な活動もありましたが、この部で活動したことは一生の思い出になると思います。そして、今まで新聞作成を支えてくださった方々本当にありがとうございました。

副部長　則竹　孝哉（3年3組）

まだまだ経験が浅く、学ぶこともたくさんありましたが、いろいろな体験をして、たくさんのことを学びました。そしてこれからのことを活かして、これからの自分にも役立てていこうと思います。

丸山　開（3年3組）

この部活に入部してから、あっという間の1年で、後輩の1年生が入ってくるのも信じられないほどです。これからは、これまでの新聞作成に加えて、先輩として責任感がより必要になると感じています。よって部活では、堂々と、主体的に行動できるよう、努力していきたいと思います。

松岡　直哉（2年1組）

今回金高新聞を初めて作って思ったことは、新聞を作るのは大変なことでしたが、完成した時、大きな達成感を味わいました。今回先輩方に教わった事を忘れず、今後の新聞作成に活用していきたいです。

池村　拓澄（1年3組）

初めて作成に携わった金高新聞で、無事発行できたことを嬉しく思います。いつも新聞は「読む側」でしたが、「作る側」になってとてもいい経験ができました。これからも頑張りたいです。

今井　和臣（1年3組）

金高新聞を作るにあたって、取材の仕方や新聞の書き方など、たくさんのことを学ぶことができました。教わったことを忘れずに、今後の作成に活かしていきたいです。

中田　智大（1年3組）